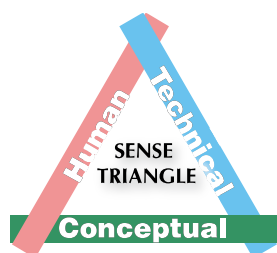


みんなで創る研修所

研修をもっと身近に、もっとみんなで



けんしゅう

令和 7 年
8 月発行

No. 131

宮城県市町村自治振興センター・宮城県市町村職員研修所
〒981-3341 富谷市成田二丁目 22 番地 1 (東北自治総合研修センター内)
TEL: 022-351-5781 FAX: 022-351-5780 E-mail: moushikomi@thk-jc.or.jp
<http://www.thk-jc.or.jp/sityouson/index.html>

新規採用職員研修、スタート！ ～ 全7日程。登壇講師決まりました ～

採用後半年を過ぎ、本採用となった県内自治体（仙台市除く）職員を対象に、新規採用職員研修を開催します。職員としての心構えや業務遂行に必要な知識・技能を改めて習得することを目指します。市町村長の講話を始め、自治体の先輩である職員の方を講師にお迎えします。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

【令和 7 年度新規採用職員研修 講師登壇職員一覧】 (敬称略・一部略称。8 月現在)

日程 / 科目	講 話	公務員としての使命	地方自治のしくみ	地方公務員制度	CS理論と接遇
A 10月 7日(火)～ 10月10日(金)	気仙沼市長	今野庸紘(多賀城市) 鈴木聖己(大崎市)	寺田洋一(大崎市)	高橋陽子(大崎市) 佐藤 洋(村田町)	本田幹枝(研修所) 小野寺優太(研修所)
B 10月21日(火)～ 10月24日(金)	色麻町長	高橋大貴(石巻市) 岡崎恵太(七ヶ浜町)	今野泰佑(大崎市)	芳賀洋介(気仙沼市) 佐藤 操(栗原市)	大下敬司(大河原町) 大平佳矢(涌谷町)
C 11月 4日(火)～ 11月 7日(金)	女川町長	吉田伸也(栗原市) 早坂 凌(研修所)	今野泰佑(大崎市)	相澤なぎさ(名取市) 加藤 満(角田市)	平間宏美(蔵王町) 阿部智子(宮城東部衛生処理組合)
D 11月18日(火)～ 11月21日(金)	名取市長	菊地佳彦(名取市) 菅澤誠也(利府町)	大宮 正(名取市)	菅原功司(名取市) 高橋和広(大崎市)	星井絵名(塩竈市) 目黒貴将(角田市)
E 12月 2日(火)～ 12月 5日(金)	亘理町長	高橋大貴(石巻市) 板橋恵介(多賀城市)	三條裕真(多賀城市)	小湊洋司(角田市) 丹野 修(研修所)	高橋美香(登米市) 早坂 凌(研修所)
F 12月22日(月)～ 12月25日(木)	大和町長	高橋宏和(栗原市)	小湊洋司(角田市)	西城寿光(気仙沼市) 高橋和広(大崎市)	佐藤和博(蔵王町) 佐藤 洋(村田町)
G 1月13日(火)～ 1月16日(金)	松島町長	及川英明(石巻市) 佐藤彰斗(研修所)	平山菜緒子(塩竈市)	菅原功司(名取市) 高橋陽子(大崎市)	由利真人(山元町) 渡邊さなえ(宮城東部衛生処理組合)

～ 研修指導者、登壇準備着々と ～

「指導者フォロー研修」で、スキルをさらに向上

職場の研修指導者として、また講師としての心構えや技法に磨きをかけました。(7月17・18日 写真右 演習風景)



新規採用職員研修・事前科目検討会で意見交換

「研修効果を上げるためには？」研修指導者の皆さんが、担当科目ごとに進め方の確認やアドバイスなど意見交換しました。(7月18日 写真左「CS理論と接遇」分科会)



近日開催『地方自治セミナー』～住民とともに成長する自治体職員を目指して～

仕事が増える、人が足りない。そのような中であって、職員の「働きがい」とは。早期離職などの背景や、仕事の「量」、「質」の問題を考察していきます。後半は演習を通して「どう成長したいのか」問題解決のヒントを探ります。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



岩手県立大学 役重眞喜子准教授

と き 9月24日(水) 13:00～16:00
ところ 東北自治研修センター 講堂
テーマ 『 住民とともに成長する自治体職員を目指して
～「働きがい」はまちがつくる・まちをつくる～ 』
講 師 役重 眞喜子氏 (岩手県立大学総合政策学部准教授)



研修所 de パチリ! ⑥

「第1回研修運営委員会」を開催



研修所では環境変化に対応した研修事業の企画・検討機関として、市町村等代表者による委員会を設置しています。今年度第1回目の会議を開催し、これまでの実績や今後に向けて意見を交換しました。次回は10月を予定しています。(7月31日 会議室)

委員の皆さん(順不同・敬称略) ★委員長 ☆副委員長

塩竈市総務部総務人事課課長補佐兼係長 ☆	目黒 貴之
名取市総務部総務課主幹兼係長	大元 枝里子
登米市総務部人事課課長補佐兼係長	佐藤 克博
東松島市総務部総務課主任	植木 裕太
大崎市総務部人財育成課課長補佐 ★	三野宮 健
大河原町総務課主幹兼係長	瀬戸 裕次
山元町総務課主査	渡辺 泰弘
利府町総務部総務課主査	松木 聡
加美町総務課主幹兼係長	國分 周平
宮城県町村会総務・事業課主事	板垣 晴香

(任期 2025.4.1～2027.3.31)

本年4月1日現在

シリーズ【研修事始(けんしゅうことはじめ)】 ⑥

研修は「銅鑼(どら)の音(ね)」の如く

「一度、ドゥワァ〜と響いた音は時間とともに小さくなり、やがて消える。そこでまた鳴らす。研修は銅鑼の音のような繰り返し」。かつて先輩に教わった。職員として服務宣誓し、各所属で研修を受けて半年。この間、職場内外で大切なことを教わり、学んで来たことだろう。

ここで再び「ドゥワァ〜」が、今般の「新規採用職員研修」である。

知識、技能の再習得に加え、これまでを省み、これから在りたい姿を考える。職員同士のリアルな交流も貴重な機会となるだろう。

上司や研修担当はその意義を伝え、送り出してほしい。出航を告げる銅鑼の音は、そのときから鳴り響いている。

調査研究員 本田 幹枝

ご案内・お知らせ

■センター副管理者に女川町長が再任

宮城県市町村自治振興センター副管理者に、須田善明女川町長が再任しました。任期は7月25日から2年間です。どうぞよろしくお願いいたします。

■メガトレンドセミナー開催

時代の潮流をテーマに行う恒例のセミナーです。年明け1月6日(火)の予定です。詳細は後日ご案内します。

編集後記

- この夏、県内でも連日猛暑日を記録。子供の頃と比べ、日本の夏も変化している？と実感しています。自治体を取りまく環境変化に対応し、次代を見据えた研修の企画・運営に努めていく所存です(大村)
- 災害報道に、かの地の自治体職員を思う。昼夜を問わず奔走する姿を推し量り、敬意とともに心から安全を願う。その「働きがい」を後押しするのは何だろう。『地方自治セミナー』で、今一度向き合いたい(幹)

サマージャンボ宝くじ・ハロウィンジャンボ宝くじ ～ 市町村のまちづくりに役立っています ～